



「輝くよっかいちの子ども」の育成に向けて

特集 段差のない教育、途切れのない指導・支援

これからの子どもたちには、社会を生きていくために「問題解決能力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」を身に付けるだけでなく、「豊かな人間関係をはぐくむためのコミュニケーション力」も必要です。そのためには、子どもの発達の特徴を早期に正しく理解し、乳幼児期から適切な指導・支援を行うとともに、保育園・幼稚園や小・中学校においても、関係機関と連携しながら適切な指導・支援を行っていくことが大切です。そのことにより、子どもたちの可能性をより発揮させることができます。

今回の特集では、本市の目指す子どもの姿「輝くよっかいちの子ども」の育成に向けた取り組みを紹介します。



段差のない教育の取り組み



子どもたちは、希望に胸を膨らませて小・中学校の入学を迎えます。その一方で、小・中学校入学時の環境変化は、時に、子どもによって乗り越えることが難しい「段差」の一つになります。この「段差」に対応するため、本市では、子どもの学びや育ちを長期的に見通した指導方法の工夫や体制の整備を図り、より滑らかな接続に努めています。

各中学校区で、幼稚園・保育園、小学校、中学校の連携を強化し、連続した学び・育ちを支援する取り組みを行っています。子どもたちが、学校生活を一層充実して過ごすことで、「確かな学力」と「健やかな成長」を目指しています。

公開授業を通じた連携強化と授業改善の推進

中学校区内の各学校・園において、教員などが公開授業を年1回以上行って、お互いの授業を見合い、意見交換などを行っています。そこで、自校区の子どもたちにつけたい力を明確にし、共通認識することで、系統性を持たせた授業改善を推進しています。

小学校高学年における一部教科担任制の推進

小学校高学年の一部の教科で、中学校のような教科担任制による授業を行うことで、高学年の児童が、より専門的な指導を受けるとともに、高学年の担当教員同士が連携・協力体制をとり、中学校の指導体制への円滑な接続を進めています。

小・中学校教員の相互乗り入れ授業などによる交流指導の実施

中学校の教員が小学校で児童に授業を行うなど、授業交流を進め、お互いの指導の良さを学び合い、授業の改善に生かすことで、小学校高学年児童の中学校入学への抵抗感を少なくしています。



中学校の教員による小学校での乗り入れ授業

学習集団を少人数にすることで、教員が子どもたち一人ひとりに応じたきめ細かな指導ができるだけでなく、子どもたちと向き合う時間に余裕が生まれるため、一人ひとりの学習の進捗、抱える悩みなどを把握しやすく、教育的な効果が期待できます。

小学校1年生、中学校1年生での30人学級の実施

本市独自で、小学校1年生、中学校1年生において、下限なしの30人学級を実施し、「小1プロブレム(※1)」、「中1ギャップ(※2)」の予防、解消を図っています。

- ※1 小学校に入学したばかりの児童が、「集団行動がとれない」、「授業中に座ってられない」、「話を聞かない」などの状態が数カ月間継続する問題
- ※2 中学校に進学した生徒が、小学校との環境の違いになじみず、不登校や問題行動が急増する問題

小学校、中学校における少人数授業の実施

子ども一人ひとりの実態を把握し、テーマ別や習熟度別のグループによる学習、チーム・ティーチング(※3)など、狙いに応じた効果的な少人数指導を実施し、きめ細かな授業を行うことで学力の定着や向上を図っています。

- ※3 複数の教員が役割を分担し、連携・協力しながら指導計画を立てて指導する方法



小学校での少人数授業

学びの一体化

少人数教育の充実

途切れのない指導・支援のしくみ

発達に課題やアンバランスさがある子どもの健やかな育ちを保障するため、学校・園、関係機関、家庭、地域と連携し、乳幼児期からの途切れのないきめ細かな相談や支援を行う体制づくりを目指しています。

早期相談

- ・育児、養育、発達、行動などに関する相談
- 発達総合支援室、あけぼの学園、保育園、幼稚園、家庭児童相談室、こども保健福祉課など



早期支援

- ・あけぼの学園での支援(児童発達支援)
- 通園部、療育部、訓練援助・相談(理学療法・作業療法・言語聴覚療法・発達心理相談)
- ・保育所等訪問支援



保育・教育

- ・自信を高めるための「4つの教室」
- ・保育園、幼稚園、小・中学校における特別な支援
- ・特別支援学級(小・中学生対象)
- ・通級指導教室(小学生対象)
- ・特別支援学校



地域生活支援

- ・職業評価、職業準備支援、ジョブコーチ
- ・職業相談、職業紹介、職場適応訓練
- ・福祉的就労の場の利用
- ・就業・生活に関する相談支援
- ・生活に関する相談支援



アンダーエイト プロジェクトU-8事業 (四日市市発達障害等早期支援事業)

言葉に関する課題や、対人関係・社会性の課題、学習上の基礎的な能力に関する課題がある幼児・児童に対して、早期に対応し、保育園、幼稚園や小学校と連携をとりながら、自己肯定感をもって小学校へ入学できることや、小学校生活を楽しく過ごすことができるように支援します。

自信を高めるための「4つの教室」【場所:総合会館6階】 ※在籍する園・小学校で巡回相談に申し込みください

幼児ことばの教室【4・5歳児対象】

※保護者と一緒に支援の仕方を学びます

ごっこ遊びやゲームなど、楽しい活動の中で、「ことばをやりとりする力」、「正しい発音で話す力」、「思いをことばで表す、相手にきちんと伝えるなど、話しことばの力」を身に付けます。

一日の出来事を話すようになり、人との会話も増えました。家での練習の仕方も教えてもらい、親子で一緒にすることができました。



保護者の感想

まなびの教室【小学1・2年生対象】

※保護者と一緒に支援の仕方を学びます

学校と連携しながら、苦手さに応じた個別の支援を行い、「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「計算する」、「推論する」といった学習に必要な基礎的な力を身に付けます。

親と一緒に参加することで、どう声かけをすれば楽しく取り組めるかなど、いろいろ勉強になりました。



保護者の感想

ともだちづくり教室【4歳児～小学2年生対象】

小グループでソーシャルスキル(※4)を身に付ける学習を行い、友だちと一緒に仲良く遊ぶためのワザやコツを覚えます。

※4 社会生活や対人関係を営んでいく上で、必要な社会的技能



ともだちづくり教室

子どもの見方・ほめ方教室

【ともだちづくり教室に参加する子どもの保護者対象】

安定した親子関係づくりと子どもの望ましい行動を増やすために、「子どもの行動を見ること」、「上手なほめ方」、「子どもが理解しやすい指示の出し方」などをみんなで話し合いながら学びます。

子どもの良いところを見るようになって、叱ることが減り、親子ともに良い時間を過ごせるようになりました。育児が楽しくなりました。



保護者の感想

同時に実施

通級指導教室(小学生対象) ※在籍する小学校を通じて申し込みください

通常の学級に在籍する児童のうち、言語、社会性、行動面で特別な支援を必要とする児童が対象です。保護者と連携しながら、それぞれの児童の能力や特性に応じた指導を行い、学校生活への自信を高めます。

言語通級指導教室「ことばの教室」

【対象となる子ども】

- ・言葉がはっきりせず、他の人に通じにくい
- ・緊張すると言葉が出にくい
- ・話の聞き誤りや聞き返し、覚え間違いが多い
- ・言葉の理解や表現が苦手 など

【指導内容】

- ・言葉を聞き分ける力をつけます
- ・唇や舌など発音に関わる器官の動きを高めます
- ・正しい発声・発音ができるようにします
- ・滑らかに話したり、読んだりする力を伸ばします
- ・語彙を増やして、文章を理解する力や分かりやすく話す力を伸ばします

【設置校】

- ・中部西小学校、桜小学校、富田小学校

情緒等通級指導教室「ほっとルーム」

【対象となる子ども】

- ・いつも体を動かして、何かしていてもすぐほかのことに気をとられる
- ・友だちとコミュニケーションをとることが苦手
- ・集団行動がうまくいかない など

【指導内容】

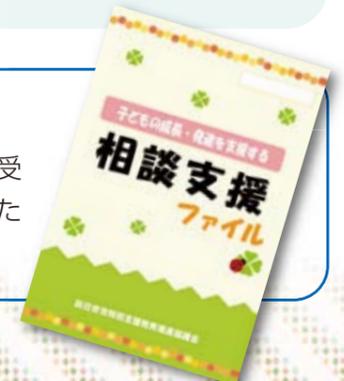
- ・興味や関心を広げるために、さまざまな教具や教材を活用します
- ・言葉の発達を助けるために、会話を楽しみます
- ・運動や工作なども取り入れ、体を使った学習をします
- ・遊びやゲームを通して人とのかかわり方を学習します

【設置校】

- ・桜小学校、内部東小学校、富田小学校

「相談支援ファイル」で情報共有

「相談支援ファイル」は、乳幼児期から成人期に至るまで、途切れのない支援を受けられるように、医療、保健、福祉、教育、就労などの関係機関と情報を共有するためのファイルです。

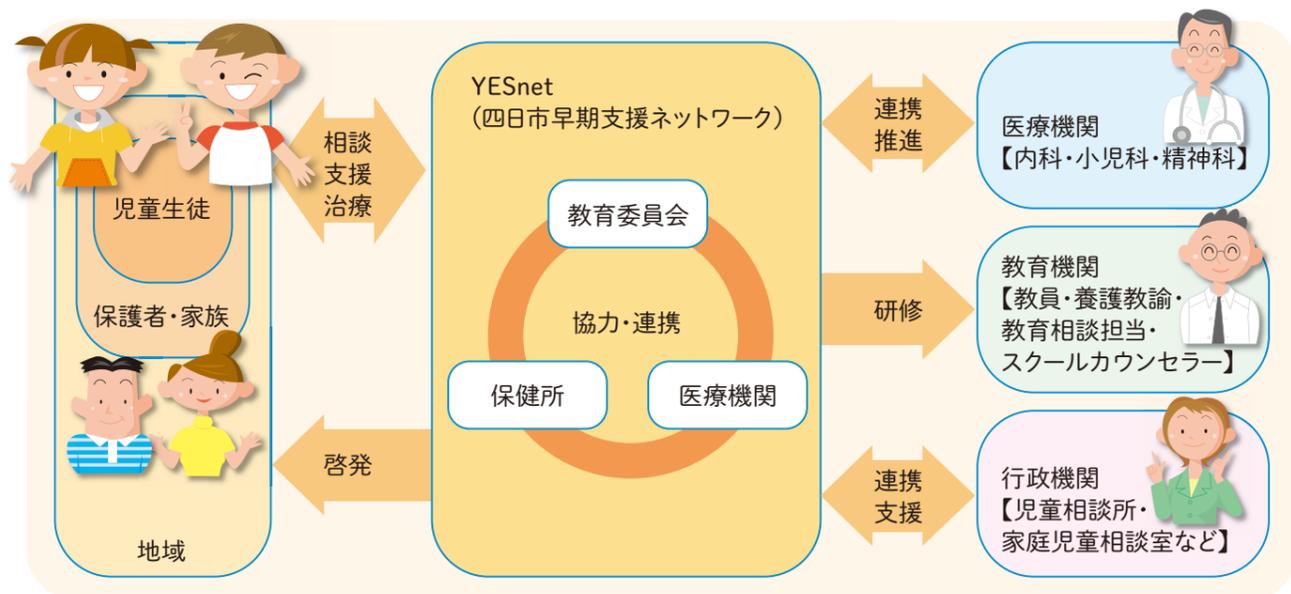




イエスネット YESnet(四日市早期支援ネットワーク)の取り組み

YESnet(四日市早期支援ネットワーク)は、小・中学校の児童生徒のこころの病気の早期支援、より良い回復を目的として設立されたネットワークです。教育委員会、保健所、医療機関が協力して、子どもたちのこころの病気の予防・早期発見に努めるとともに、保護者や教職員への啓発、相談なども行っています。

YESnetの連携図



こんな症状で悩んでいませんか？



お子さんに左記のような
様子がみられたら、
まずは小・中学校の教職員に
相談してください

中学校でのメンタルヘルスの出前授業



学校に出向いて出前授業や出前研修・相談

YESnetは、学校からの要請で、児童生徒を対象にしたメンタルヘルスの授業を行ったり、教職員を対象に研修会を開いたり、相談に応じたりしています。また、保護者向けの研修も行っています。



全市立小・中学校にスクールカウンセラーを配置

最近の子どもたちは、友人や家族などとの人間関係、いじめ、不登校など多くの悩みを抱えています。その背景や要因は複雑であり、きっかけもさまざまです。子どもたちを守るためには、子どもたちが心の不安やストレスから発するサインに、大人たちが早期に気付くことが大切です。

本市では、平成25年度、全市立小・中学校(小学校39校、中学校22校)にスクールカウンセラーを配置し、週1回程度、学校で業務を行っています。スクールカウンセラーは、臨床心理士の資格を持ち、高度な専門的知識を有し、心理相談業務に従事する専門家です。

スクールカウンセラーは、子どもや保護者などの相談者へのカウンセリングや、子どもたちの学校生活の観察などで得た情報を総合的に分析し、プライバシーに十分配慮した上で、学校と連携しながら助言・援助を行っています。

スクールカウンセラーを全校に配置したことにより、活用が進み、いじめ、不登校、児童虐待などさまざまな問題の未然防止、早期発見、早期解決につながっています。



スクールカウンセラー
今尾 真弓さん

現在、小学校でスクールカウンセラーをしています。

学校では、なるべく教室を訪れ、子どもたちに顔を覚えてもらい、相談に来やすいようにしています。相談内容については、プライバシーに配慮した上で、必要となる子どもへの対応は、先生たちとチームを組んで当たります。先生とスクールカウンセラーのそれぞれの視点で複眼的に子どもたちの姿を捉えることができるので、理解の幅が広がります。

現代社会は、核家族が多く、親同士の関係も希薄なため、保護者が子育てや子どもの発達に関する悩みを自分ひとりで抱え込むことがあります。私は、悩みを聞くだけでなく、相談者の心の悩みに寄り添い、解きほぐし、何か一つでも実践できることを持ち帰ってもらえるよう心掛けています。

ハートサポート事業

臨床心理士の資格を持つ人を、ハートサポーターとして登録し、学校・園や家庭からの緊急な要請に対して、カウンセリングを行う制度です。

※相談の予約は、各小・中学校で随時受け付けていますので、悩みを抱え込まず、ぜひご相談ください

編集後記

各学校・園では、目指す子どもの姿「輝くよっかいちの子ども」の育成に向けた取り組みを行っていますが、家庭や地域の協力がなければ、その実現はありません。学校・園と家庭、地域が強い信頼関係で結ばれ、それぞれの役割と責任を果たしながら子育てを行い、「輝くよっかいちの子ども」の育成を目指していきましょう。

(教育支援課 大原、指導課 北村、発達総合支援室 福井、広報広聴課 渋谷)

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は

教育支援課 ☎354-8285 FAX 359-0280

指導課 ☎354-8256 FAX 354-8475

発達総合支援室 ☎354-8064 FAX 354-8601

広報広聴課 ☎354-8244 FAX 354-3974